

行政部会 第2回 普及啓発作業委員会・住民主体啓発作業委員会
合同作業委員会（2 合同作業委員会）議事次第

令和7年5月27日
オンライン会議

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事

（1） 15問質問票を活用したフレイル測定の普及に向けての作業状況について

【資料1】

（2） 15問質問票を活用したフレイル測定の普及に向けての横展開について

【資料2】

（3） その他

4. 閉会

（配布資料）

【資料1】 15問質問票を活用したフレイル測定の普及に向けての作業状況について

【資料2】 15問質問票を活用したフレイル測定の普及に向けての横展開について

（参考資料）

1. 令和6年度老人保健健康増進等事業調査研究報告書
2. 作業委員会名簿（三作業委員会全体）

第2回
普及啓発作業委員会・
住民主体啓発作業委員会
合同作業委員会
(2合同作業委員会)

令和7年5月27日

医療経済研究・社会保険福祉協会

【資料 1】 15 問質問票を活用したフレイル測定の普及に向けての作業状況について

- 1. 高知県内における横展開に向けての作業状況について**
5 月 13 日における県内研修会の研修プログラムの概要
 - (1) 13 日の高知県研修のプログラム【別添 1】**
 - (2) 基調講演のスライド【別添 2】**
- 2. 新しい情報システムの開発の作業状況について**
フレイル予防に関する情報システムの検討状況【別添 3】

【資料 2】 15 問質問票を活用したフレイル測定の普及に向けての横展開について

1. 神奈川県及び高知県以外の県における横展開の作業の段取りについて

(1) 第一ステップ

①フレイル予防推進会議構成員の市町村（東大方式のフレイルチェックを既に行っている自治体）における 15 問質問票を活用したフレイル測定の試行及び県への働きかけ

②試行を行った市町村所在の県における横展開の取組（注）

（注）ボランティアの重要性についての市町村職員の理解を得ることがポイント

(2) 第二ステップ

東大方式のフレイルチェックを行っている市町村のない都道府県への横展開

2. 横展開におけるコーディネート機関（医療経済研究・社会保険福祉協会が担当）の支援について

(1) トレーナー処遇等その地位の位置づけとトレーナーの組織化

(2) 当面の試行市町村及び県へのコーディネート機関の支援作業

【別添 1】

令和7年度フレイル予防に関する研修会 実施要領

1 目的

高齢者は、加齢に伴う身体機能の低下や複数の慢性疾患の罹患に加え、身体的、精神・心理的、社会的な脆弱性といった多様な課題と不安を抱えやすく、フレイル状態になりやすい傾向にあることから、高齢者の健康づくりにおいては、効果的にフレイルを予防することが求められている。

フレイル予防は取り組むことで高齢者自身が元気になるだけでなく、地域を活性化させる人材としても活躍していくことが報告されており、県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることができるよう、市町村職員がフレイル予防の取組について理解し、各市町村で実施するフレイル予防事業に反映させることで一層の充実・促進をはかることができるようになることを目的とする。

2 主催

高知県

3 対象

フレイル予防施策に関わる市町村職員、地域包括支援センター職員 等

4 日時及び場所

日 時：令和7年5月13日（火） 13：30～16：30

場 所：高知城ホール 4階 多目的ホール （高知市丸ノ内2丁目1-10）

5 内 容

①講 演 フレイル予防活動は、人を育てる・地域をつくる

- ・今後の全国的なフレイル予防活動の方向性
- ・新しい住民主体のフレイル予防啓発活動
- ・フレイル予防事業における効果測定 等

講 師 一般社団法人 医療経済研究機構・社会保健福祉協会 辻 哲夫 氏

②取組報告 住民主体での質問・計測を通したフレイル予防啓発活動

- ・後期高齢者への質問票を活用したフレイル測定
- ・住民同士でチェックすることによる意義 等

報告者 NPO 法人フレイルサポート仁淀川 理事 小松 仁視 氏

③グループワーク

6 申込み・問い合わせ先

高知県子ども・福祉政策部長寿社会課 介護予防・地域支援室 森岡

T E L：088-823-9762 F A X：088-823-9259

E－M a i l 060201@ken.pref.kochi.lg.jp